

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題			
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計		
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人					
子 ど も 育 成 機 能	・将棋クラブ	15回		1	27	4	15			2				49	年間を通じて技術向上に努める。新型コロナのため実施を見送る。	体験から始まり、徐々に実践に繋げていった。定期的に大会を実施。 回を追うごとに参加者が増えていき、好評だった。	
	・キッズダンスクラブ	40回		10	122	10	34	1						177	年間を通じて技術向上に努める	ダンスをする楽曲も自分たちで考え、振付も自分たちでアイデアを出し合って、仕上げていた。発表する機会もあり、音楽が日常に入ってきていることを実感でき	
	(5) 地域間交流促進活動																
	藤の木子どもキッチン	14回		26	115	24	51		3		8	62	289	地域の民生委員が実行委員となり、以前は地域のボランティアの方々と一緒に調理をし、みんなで一緒に食事をする参加費無料の食育活動。今年度より、一般児童の参加も解禁。秋以降はバーベキューやブラジル料理、カレーライスなど調理も行った。	地域の方と児童のコミュニケーションの場になっており、館外でも挨拶ができるようになってきている。3年生以下は調理が初めてだったが、楽しく活動していた。		
	藤の木子どもキッチン音楽会	1回	1	1	7	1	3		3			2	18	演奏者の方を招き、音楽会を開催した。	フルートとチェロの生演奏を奏でる中で、聴きなれた楽曲から耳馴染みの楽曲演奏があり、楽しい音楽会となった		
	地域子育て支援ステーション事業 中学生と赤ちゃんの交流事業	2回	3				1	3	3	3				13	中学生と赤ちゃんのふれ合い交流を通じて、健全育成を図り・子育てに関わる予備体験を行う。	乳幼児親子の参加が少なく、中学生の準備だけしかできないときがあった。もっと乳幼児親子への広報を行うとともに、中学生も同じ子どもしか来なくなっているの	
	地域子育て支援ステーション事業 中学生と赤ちゃんの交流事業打合せ	3回						3						3	中学生と赤ちゃんのふれ合い交流にむけて、企画・準備を進めていく。	乳児さんが活動内で出来ることを想定しながら進めることで共通理解できた。	
	思い出遠足	1回			13	3	4	2	1		1			24	遠足を通じて、小学生・中学生・地域の大人まで幅広い年齢層の交流を深める機会とする。	コロナ感染状況が下火になったので、3年ぶりに公共交通機関を使い、「京都水族館」へ行き、共に過ごした仲間と楽しい思い出を作る機会とする。	
	令和4年度学童クラブ登録申請説明会	随時	3						8					11	新年度登録家庭対象にむけた説明を随時実施。	人数が少ないので、個人的に説明できて、保護者も理解しやすかったようだ。	
	(9) 地域を知る活動	0回												0			
	ふじのきとんどまつり	中止												0			
	合 計	197回	7	97	1742	205	485	41	32	3	23	75	2710				
	子ども育成機能 合 計	197回	7	97	1742	205	485	41	32	3	23	75	2710				

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和4) 年度 児童館事業年間活動報告書

(城南) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数									内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア				合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生				大人
子 ど も 本 家 庭 支 援 活 動	※ 乳幼児クラブ ぐんぐんクラブ	20回	47							47			94	おおむね2歳のお子さんとその保護者を対象としたクラス。手遊び、工作、体操等を通じてお子さんとの関わり方の提案。保護者同士の交流、連携を図る	母親同士の交流から子育て不安の軽減につながる また先輩お母さんとの子育て談話から安心感を得られる 他人の子どもと比べてしまう母親への関わり方や気になる子どもの対応は職員の共通理解が必要
	乳幼児クラブ てくてくクラブ	20回	125							122			247	おおむね1歳のお子さんとその保護者を対象としたクラス。手遊び、工作、体操等を通じてお子さんとの関わり方の提案保護者同士の交流、連携を図る	
	ぐんぐん・てくてく 合同クラブ	4回	26							26			52	遠足や消防署見学などの、屋外行事や大型行事を2つのクラブで合同で取り	
	リトミック	10回	50							50			100	講師を招いて、生のピアノの音色と一緒に、絵本やボール遊びなどを楽しむ	
	ちびっこ広場	17回	22							21			43	児童館の遊戯室を開放し、乳幼児とその保護者に利用してもらう 必要に応じて職員が、育児相談等に応じる	
	ふうせんクラブ	29回	81							85			166	成長記録の手形・足形を利用した作品を毎月作り、3月には成長記録の冊子が、1人1冊できるようにしている	好評なので、内容を充実させて、今後も続けていきたい
	ブルーあそび	中止											0		
	アフリカダンス	2回	6			2				13			21	西アフリカの伝統舞踊を、本場の太鼓演奏と共に踊る	根強い参加者に好評なので、今後も続けていきたい
													0		
													0		
													0		
													0		
												0			
												0			
												0			
	パパ・ママカメラマン	2回	6							7			13	遊戯室全体を写真館のように飾りつけ、保育者自身がカメラマンになって子どもたちを撮影する ハロウィンやおしゃれでかわいい雰囲気のある装飾も楽しんだ。	好評なので、今後も内容を充実して続けていきたい
	こぐまちゃんクラブ	中止											0		
	合 計	104回	363	0	0	2	0	0	371	0	0	0	736		
推 進 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等	件数	
		乳児 幼児 小1～3年(学童) 小1～3年(自由来館) 小1～4年(学童) 小4～6年(自由来館) 中学生 高校生	3 22 5 7 4 1 1	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { 小学校 }				39	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			21 6 3 2 2 6	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }	3 1 4	
		件数 計	43	-				39	-			40	-	4	
(4)子育てグループを育成	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題					
(5)子育てと健全育成に関	活動名	実施回数	活 動 内 容									成 果 と 課 題			
	消防署見学 避難訓練	1 12	消防署職員による京都市の消防の現状と、一般市民に出来る防火の講習 消防車、救急車の見学 児童館が火災および、地震が起こった際の、避難訓練を実施した。									消防の働きが、参加者に理解された。防火活動に取り組む意欲が向上した。 経路の確認と、職員の自覚向上。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
地域	基	(1) 地域住民との交流を促進する活動	随時	藤ノ木学区防犯 藤ノ木こども 見守り隊							小学校 中学校 保育園 自治会 各関係機関団体	不審者、ひったくり等の頻発地域にあって、こども達の安全な暮らしに対しても敏感に反応する地域である防犯上、地域各種団体と密にネットワークを組むことは、有効な手段であり、児童館も地域を支える一翼を担っているといえる		
													14回	児童館 藤ノ木学区児童 民生委員協議会
		合計	-									提供する弁当のメニューを決めるところから、児童館と民生員が連絡を取り合い、連携をとって実施する。		
福	本	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
		(2) ボランティア活動の推進			高校生			大学生	大人	合計	互いに声を掛け合いながら高校生自作の「税金すごろく」をとじて交流を楽しんでいた。			
					12		2	23						
合計			21	0	2	23								
進	機	連 携 団 体 等		連 携 内 容				成 果 と 課 題						
		(3) 地域との連携を促進する活動		<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会参加 ・地域勉強会参加 ・小学校生活化授業(地域を知る) 受け入れ ・伏見子供ネットワーク会議参加 ・防犯活動協力 ・みんなおいでいっしょにあそび企画会議 ・向島東中学校区保幼小中連携協議会 (平成26年度より参加) ・藤の木子どもキッチンの共催 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域諸団体との、情報、問題点の共有化と、それに対する共通認識を持つことが出来た ・お互いの協力体制が整った ・個々の住民レベルでの連携体制は難しい ・住民の入れ替わりが激しく、また連帯意識が特に希薄な地域だけに児童館活動への理解と協力をいかに高めるか課題である ・住民の入れ替わりが激しく、また連帯意識が特に希薄な地域だけに ・地域の現状をこまめに把握することによって子ども達が本当に必要援助はどのようなものなのか、ニーズを知る手助けとなっている ・向島東中学校区内のすべての子ども達の成長と発達を考え、意見交換と情報共有の場となっている ・食の貧困ということが考えられる地域なので、子どもたちは楽しみ参加できた アレルギーにも対応しているので、継続していく 						

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本 活 動	(4)児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			・藤ノ木こども見守り隊		・藤ノ木こども見守り隊		随時	児童館のみならず、地域のこども達の安全のために活動されている主な活動は、地域の見守り	地域柄、防犯に努めることは必須であるが、子供たちの安全確保となると児童館だけでは対応しきれないので、連携して頂くことで利用者側からも、安心して児童館が利用できる
	推進 活 動	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)	成果と課題	
能	(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		
		各幼児クラブ開催前 アンケート調査	ニーズの把握 利用者の隠れた技能 発掘する	幼児クラブ参加保護者	児童館	アンケート	保護者が求めているものを事前を知るにより、よりよいクラブ活動ができるお母さん方の埋もれた才能を引き出すことで、お母さん方自身が輝ける場としていただけるようサポートできる		

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館便り (裏面にすくすくだより)	月一回	<ul style="list-style-type: none"> 一般来館者 学童クラブ保護者 小学校 各自治会 子育て支援センター 幼児クラブ参加者 近隣の各家庭 	<ul style="list-style-type: none"> 配布 拡大版を玄関掲示板に張り出し 小学校担任へ配布 各教室に掲示 子育て支援センターへメール送信 	<ul style="list-style-type: none"> 月の行事内容 児童館の取り組み紹介 子育て情報 留意点喚起 	<ul style="list-style-type: none"> 児童館の取り組みをより知ってもらえる 行事内容の確認をしてもらえる 地域に理解、協力を得やすくなる 学校の先生方に児童館の活動の内容を理解してもらえる
	ぐんぐんクラブ募集案内 てくてくクラブ募集案内 ふうせんクラブ募集案内	随時 随時	<ul style="list-style-type: none"> 幼児クラブ参加希望者 地域の幼児の保護者 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター 案内書の配布 	幼児クラブ参加へのお誘い 活動内容解説	<ul style="list-style-type: none"> クラブの活動内容を広められた 児童館の事を知らない方に知ってもらえた 幼児クラブの活動を知らない方が案外多いので、広報活動によって更に広めていきたい
	幼児クラブ便り	月一回	幼児クラブ参加保護者	活動日に配布	活動予定 歌、手遊びの紹介・活動中の写真など	<ul style="list-style-type: none"> 活動中は、保護者はなかなか写真を撮ることができないので、好評である 家庭でも親子で手遊びをして楽しんでいる
	すくすくだより	月一回	地域住民	各街区の掲示板、及び近隣住民に協力依頼をして掲示	乳幼児さん親子向けの活動内容の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ポスターを見て参加されることはまだ少ないようだが、継続は力なりで続けていく 地域の街区の自治会長とも連絡をとる機会を作る。